

教科	国語	学年	第2学年
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
ナゴロクトーク	2	◎この 大きさを かんがえて はなそう ナゴロクトーク 教科書：P8 ◎いろいろな場面で、話す声の大きさを考えて、気をつけて話すことの大切さに気づく。 ☆学習用語：声の大きさ／伝える／相手／声のものさし	◎「思・判・表」◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫している。(A11ウ)
つづけて みよう 日記	4	◎この できごとを 書きとめよう つづけて みよう 日記 教科書：P10 ■毎日の生活を振り返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、日記を書く。 ☆学習用語：日記／日記のたね	◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)
ちいさい おおきい	2	たのしく こえに 出して よもう ちいさい おおきい 教科書：P12 □体を動かしたり、声の大きさを工夫しながら、楽しく読む。	◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C11エ)
はるねこ	12	ー どうじょう人物の した ことに 気をつけて 読もう はるねこ 教科書：P16 □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、音読する。 ☆学習用語：はるねこ／しょうじょう人物	◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C11イ)
ひろい 公園	3	◎この こと を おとさずに 聞く ひろい 公園 教科書：P32 ◎質問を答とさないように聞き、絵から答えを探す。 ★ここが 大事：大事な こと を おとさずに 聞く ☆学習用語：質問／様子／言葉／いつ／どこ／どんな／だれ／何	◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせていないことや自分が聞きたいことを答とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A11エ)
回文を たのしもう	1	言葉の 文化① 回文を たのしもう 教科書：P37 △回文の意味を知り、楽しみながら回文を読む。 ☆学習用語：回文	◎「読むこと」において、長く繰り返されている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくこととし、学習の見通しをもって回文を楽しみながら読んでいる。
画と 書きじゅん	2	漢字の ひろば① 画と 書きじゅん 教科書：P38 △漢字の画と筆順について理解し、正しく書く。 ☆学習用語：画／画数／書き順(筆順)	◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)
一年生で 学んだ 漢字①	2	一 年生で 学んだ 漢字① 教科書：P40 △絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)
すみれと あり	13	ニ じゅんじよに 気をつけて、二つの つながり を かんがえよう すみれと あり 教科書：P42 ◎ありと問の間に気をつけながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。 ★ここが大事：「何が—どうする」に気をつけて読む ☆学習用語：順序／つながり／題名	◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を捉えて選り出している。(C11ウ)
かんさつ発見カード	4	おかりやすく きろくしよう かんさつ発見カード 教科書：P50 ■観察して同じところや違うところを見つけ、考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考え、「かんさつ発見カード」を書く。 ☆学習用語：観察／発見／観察のポイント／メモ／文章／最初／次に／最後に／横書き／算用数字	◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B11イ)
わかし の うたを 読もう	1	言葉の 文化② わかし の うたを 読もう 教科書：P54 △平仮名四十七文字を全て使った歌や数字が歌詞に組み込まれた遊び歌があることを知り、音読する。 ☆学習用語：いろは／うた／かな	◎「読むこと」において、長く繰り返されている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくこととし、学習の見通しをもって音読しようとしている。
かたかなで 書く 言葉	3	言葉の ひろば① かたかなで 書く 言葉 教科書：P56 △片仮名で書く言葉の種類を知り、正しく使い分ける。	◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)
本で しらべよう	2	底書の ひろば① 本で しらべよう 教科書：P58 △図書館で本を探す方法を知り、本を探して読む。 ☆学習用語：目次／司書	◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を捉えて選り出している。(C11ウ)
「生きものクイズ」で しらせよう	6	三 本で しらべて しょうかいしよう 「生きものクイズ」で しらせよう 教科書：P62 ■経験したことや本で調べたことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。	◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)
なかまの 言葉と 漢字	2	漢字の ひろば② なかまの 言葉と 漢字 教科書：P66 △意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。	◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)
「言葉のなまさがしゲーム」を しよう	2	言葉の ひろば② 「言葉のなまさがしゲーム」を しよう 教科書：P68 △言葉が体系的にもって存在していることに気づき、上位語・下位語の概念に基づいて、言葉を探したりまとめる。	◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)

<p>きつねのおきやくさま</p>	<p>四 くりかえしに 気をつけて、どうしよう人物の様子を 読もう。 きつねのおきやくさま 教科書：P72</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつ。 ★ここが大事：くりかえしの ある お話を 読む ☆学習用語：場面／登場人物／繰り返し／順序／わけ</p>	<p>◎路のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(H17)</p>	<p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C11エ) ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもっている。(C11オ)</p>	<p>・進んでお話の中の言葉や表現がもつよさを感じるとともに、学習課題にそって自分の思いや考えを伝え合おうとしている。</p>
<p>いなばのしろうさぎ</p>	<p>言葉の文化③ いなばのしろうさぎ 教科書：P98</p> <p>△古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。</p>	<p>◎昔話や神話・伝承などの読み聞かせを開くなどで、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(33ア)</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C11エ)</p>	<p>・進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを開き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。</p>
<p>うれしくなる言葉</p>	<p>言葉の文化④ うれしくなる言葉 教科書：P99</p> <p>△言葉が持つ意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(H17ア) ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付かず、語彙を豊かにしている。(H17イ)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A117)</p>	<p>・積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気づこうとし、学習の発達しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。</p>
<p>ひろがる読書のせかい</p>	<p>読書の文化⑤ ひろがる読書のせかい 教科書：P94</p> <p>△「オリジナル図書カード」や「読書ゆうびん」を作成する活動を通して、いろいろな本があることを知る。</p>	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(33エ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C11イ)</p>	<p>・読書生活を振り返ったり、読みたい本を選んでいたりしている。</p>
<p>話したいな、聞きたいな、夏休みのこと</p>	<p>じゅんじよを考えて話そう 話したいな、聞きたいな、夏休みのこと 教科書：P96</p> <p>◎夏休みのできごとを、順序を考えて話したり、友達の話聞いて感想を述べ合ったりする。 ☆学習用語：始め／中／終わり</p>	<p>◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(H17)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A11イ)</p>	<p>・進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。</p>
<p>てんとうむし</p>	<p>しを讀もう てんとうむし 教科書：P98</p> <p>□言葉のリズムや響きを楽しみながら、イメージの自由な広がりをおして詩を楽しむ。</p>	<p>◎路のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(H17)</p>	<p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C11エ)</p>	<p>・すすんで言葉の響きなどに気をつけて、学習の見直しをもって感想を発表しようとしている。</p>
<p>二つの漢字でできている言葉</p>	<p>漢字のひらば⑥ 二つの漢字でできている言葉 教科書：P100</p> <p>△二つの漢字でできた言葉の構成を確認し、二つの漢字のつながり方を考える。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使ったりするとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(H1エ)</p>	<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見直しをもって、二つの漢字でできている言葉を読んだり書いたりしようとしている。</p>	
<p>一年生で学んだ漢字②</p>	<p>一年生で学んだ漢字② 教科書：P102</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使ったりするとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(H1エ)</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B17)</p>	<p>・積極的に文の中における主語と述語の関係に気づこうとし、学習の見直しをもって文や文章を書こうとしている。</p>
<p>わにのおじいさんのたからもの</p>	<p>主 登場人物が考えたこととそうぞうしよう わにのおじいさんのたからもの 教科書：P104</p> <p>□文章を読み、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ★ここが大事：登場人物の考えをそうぞうする ☆学習用語：登場人物、場面、想像する</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(H17ア)</p>	<p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C11エ) ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもっている。(C11オ)</p>	<p>・進んで登場人物が考えたことと、本文の言葉を根拠に想像しようとしている。</p>
<p>はんたいのいみの言葉、にたいみの言葉</p>	<p>言葉のひらば⑦ はんたいのいみの言葉、にたいみの言葉 教科書：P118</p> <p>△対義語や類義語があることを知り、身近な言葉から対義語や類義語を集める。</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付かず、語彙を豊かにしている。(H17イ) ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(32ア)</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B11イ)</p>	<p>・積極的に反対の意味をもつものや、似た意味をもつものがあることに気づこうとし、学習の見直しをもって言葉を使おうとしている。</p>
<p>町の「すてき」をつたえます</p>	<p>六 まとまりのある文章を書こう 町の「すてき」をつたえます 教科書：P120</p> <p>■生活科の町たんけんで見つけたことやわかったことをもとに、自分の思いや考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考える。町のすてきを伝えよう文章を書く。 ★ここが大事：まとまりのある文章を書く ☆学習用語：メモ／理由／はじめ／中／おわり／組み立て／じゅんじよ</p>	<p>◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(H1カ) ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(32ア)</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B11イ)</p>	<p>・他科での学習や経験を関連させながら、事柄の順序にそって構成を考え、報告する文章を書いている。</p>
<p>つながる ひろがる</p>	<p>国語の学習 つながる ひろがる 教科書：P126</p> <p>○一年間の国語学習を振り返り、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを等とさないように集中して聞き、話の内容を覚えて感想をもっている。(A11エ) ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。(A11イ)H1オ)</p>	<p>・進んで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや下巻の教科書でどんな学習をしようかと共有しようとしている。</p>
<p>さがが大きくなるまで</p>	<p>じゅんじよや様子をおわす言葉に気をつけよう さがが大きくなるまで 教科書：P98</p> <p>□さけの成長について、季節や場所、さけの様子が変わり方を考えながら、内容の大体を読む。 ★ここが大事：時・場所・大きさを様子をつめいする言葉 ☆学習用語：いつ(時)／どこで(場所)／どんな(大きさや様子)／じゅんじよ</p>	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(32ア)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。(A11イ)H1オ)</p>	<p>・積極的に情報と情報との関係について理解しようとして、学習課題にそって、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりしている。</p>
<p>この間に何があった?</p>	<p>二まいのしゃんちのちがいをくらべよう この間に何があった? 教科書：P20</p> <p>□1枚目の写真から視点を定めて、2枚目の写真になった際、何が起きたことを想像する。 ☆学習用語：比べる</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付かず、語彙を豊かにしている。(H17イ)</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B11イ)</p>	<p>・進んで、友達に自分が見つけたものの様子がわかるように書き表し方を工夫し、学習課題にそって、文章に対する感想を伝え合おうとしている。</p>
<p>おもしろいもの、見つけたよ</p>	<p>二 様子をよく見て、くわしく書こう おもしろいもの、見つけたよ 教科書：P28</p> <p>■見つけた物をよく見て、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して、友達に様子が伝わるように詳しく文章を書く。 ★ここが大事：様子が伝わるように書く ☆学習用語：メモ／様子／大きさ／形／色／さわった感じ／はじめ／中／おわり／まとまり／矢印／読み返す</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付かず、語彙を豊かにしている。(H17イ)</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B11イ)</p>	<p>・進んで、友達に自分が見つけたものの様子がわかるように書き表し方を工夫し、学習課題にそって、文章に対する感想を伝え合おうとしている。</p>
<p>言葉の文化④あそぼう「あいうえお」で</p>	<p>言葉の文化④ 「あいうえお」であそぼう 教科書：P32</p> <p>△折句の文を読み、自分の名前やすきなものの名前を使って折句の文を作る。</p>	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(33イ)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。(A11イ)H1オ)</p>	<p>・進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見直しをもって折句の文を作っている。</p>

<p>ないた赤おに</p>	<p>三 心にのこったところをしょうがいし合おう ないた赤おに 教科書：P104 □登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら、『ないた赤おに』を読み、心に残ったことを話し合う。 ＊ここが大事：自分の考えをふりかえる ☆学習用語：登場人物/できごと/変化</p>	<p>◎路のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(117イ)</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C11エ) ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもっている。(C11オ) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C11カ)</p>	<p>・進んで言葉や表現に着目しながらお話を読み、学習課題にそって繰り返し読むことで、初読の感想から自分の考えを深めようとしている。</p>
<p>「お話びじゅつかん」を作ろう</p>	<p>読書の広場③ 「お話びじゅつかん」を作ろう 教科書：P106 △自分の読んだ本の中から心に残ったところを絵に描いて紹介する。 ☆学習用語：題名/作者</p>	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(33エ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもっている。(C11オ) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C11カ)</p>	<p>・「お話びじゅつかん」を作るという活動に見通しを持ち、進んで今までに読んだ本を振り返って読んだり、カード作りに取り組みだてたりしている。</p>
<p>「クラスお楽しみ会」をひらこう</p>	<p>四 しつもんしたり答えたりして、つないで話し合おう 「クラスお楽しみ会」をひらこう 教科書：P60 □話し合いでクラスで行う遊びを決め、「クラスお楽しみ会」を開く。 ＊ここが大事：つないで話し合う ☆学習用語：カード/理由/質問/つなぐ/話し合い/伝える</p>	<p>◎共通、相違、事情の順序など情報と情報との関係について理解している。(22ア)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A1イ)</p>	<p>・積極的に互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないで、学習課題にそって「クラスお楽しみ会」で遊ぶ遊びを決めるために、グループで話し合おうとしている。</p>
<p>みじかい言葉で</p>	<p>心がうごいたことを書こう みじかい言葉で 教科書：P94 ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して心が動いたことを短い言葉で書く。 ＊ここが大事：心がうごいたときに感じたことを短い言葉で書く ☆学習用語：心が動く/なりきる/短い言葉で</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(117ア)</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫している。(B11ウ)</p>	<p>・進んで言葉の書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、心が動いたことを短い言葉で書いたり友達との作品のよさを見つげようとしていたりしている。</p>
<p>漢字のつかい方と読み方</p>	<p>漢字の広場④ 漢字のつかい方と読み方 教科書：P66 △漢字の使い方や読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。 ☆学習用語：おくりがな</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を認めている。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(11エ)</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫している。(B11ウ)</p>	<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>一年生で学んだ漢字②</p>	<p>漢字の広場④ 漢字のつかい方と読み方 教科書：P66 △漢字の使い方や読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。 ☆学習用語：おくりがな</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を認めている。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(11エ)</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫している。(B11ウ)</p>	<p>・積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書くようとしている。</p>
<p>ジャンブロットを作ろう</p>	<p>五 せつめいのふうをたしかめて読み、せつめいを書こう ジャンブロットを作ろう 教科書：P70 □順序を示す書き方を知る。 ＊ここが大事：じゅんじょをしめす書き方でせつめいする ☆学習用語：説明の工夫/順序/まず/つぎに</p>	<p>◎共通、相違、事情の順序など情報と情報との関係について理解している。(22ア)</p>	<p>○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事情の順序に沿って簡単な構成を考えよう。(B11イ) ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもっている。(C11オ) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C11カ)</p>	<p>・進んで説明の工夫を見つげようとし、学習課題にそって、感じたことやわかったことをノートにまとめている。</p>
<p>おもちのせつめい書を書こう</p>	<p>おもちのせつめい書を書こう 教科書：P80 ■おもちの作り方や遊び方について、順序にそって構成を考え、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して説明書を書く。 ＊ここが大事：せつめい書を書く ☆学習用語：伝える/メモ/説明書/組み立て/じゅんじょ/作り方/あそび方/一、二、三……</p>	<p>【知識・技能】 ◎共通、相違、事情の順序など情報と情報との関係について理解している。(22ア)</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事情の順序に沿って簡単な構成を考えよう。(B11イ) ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもっている。(C11オ) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C11カ)</p>	<p>【態度】 ・進んで説明の工夫を見つげようとし、学習課題にそって、感じたことやわかったことをノートにまとめている。</p>
<p>せかいじゅうの海が</p>	<p>しを読もう せかいじゅうの海が 教科書：P94 □音読をとおして言葉のリズムや響きを楽しむとともに、無限に広がる想像の世界を楽しむ。</p>	<p>◎路のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(117イ)</p>	<p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C11エ)</p>	<p>・積極的に文章を読んで感じたことやわかったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。</p>
<p>かさこじぞう</p>	<p>六 場面や人物の様子をそうぞうして、音読きをしよう かさこじぞう 教科書：P88 □文章を読んで、場面や登場人物の様子に着目して具体的に想像し、伝え合ったり演じたりする。 ＊ここが大事：場面や人物の様子がつたよりに音読する ☆学習用語：登場人物/音読/場面/発表/様子</p>	<p>◎路のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(117イ)</p>	<p>◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C11エ) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C11カ)</p>	<p>・すすんで、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。</p>
<p>かるたであそぼう</p>	<p>言葉の文化⑤ かるたであそぼう 教科書：P106 △日本に古くから伝承されている昔遊び(かるた)を知り、実際に遊ぶことをとおしてその魅力を知る。</p>	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。(33イ)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事情の順序を考えている。(A11イ)</p>	<p>・すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づき、学習の見通しをもってかるたを楽しもうとしている。</p>
<p>おはじきのあそび方</p>	<p>じゅんじょに気をつけてせつめいしよう おはじきのあそび方 教科書：P108 □昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。 ☆学習用語：順序を表す言葉/メモ/説明/言葉/始め/中/終わり/順序</p>	<p>◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(11イ)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事情の順序を考えている。(A11イ)</p>	<p>・積極的に相手に伝えるように話す事情の順序を考え、今までの学習を生かして、昔の遊びの遊び方について説明しようとしている。</p>
<p>主語とじゅつ語</p>	<p>言葉の広場⑤ 主語とじゅつ語 教科書：P110 △文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。 ☆学習用語：主語/述語</p>	<p>◎文の中における主語と述語との関係に気付いている。(11カ)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事情の順序を考えている。(A11イ)</p>	<p>・積極的に文の中における主語と述語との関係に気づき、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>同じ読み方の漢字</p>	<p>漢字の広場⑥ 同じ読み方の漢字 教科書：P112 △同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を認めている。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(11エ)</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝えるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事情の順序を考えている。(A11イ)</p>	<p>・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。</p>

<p>こんなことができるようになったよ</p>	<p>13</p> <p>7 思い出をくわしく書いて、読みかえそう こんなことができるようになったよ 教科書：P114 ■経験したことやできるようになったことなどについて、必要な事項を載めたり確かめたりして文章を書き、まちがいがなければ読み返す。 ＊ここが大事：けいけんしたことをくわしく書く／文章を読よみかえす ☆学習用語：思い出す／メモ／順序／日記／組み立て／組み立て表／はじめ／中／おわり／読み返す／見直す／たしかめる／小さく／大きく／よく／よく／よく／よく</p>	<p>◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事項を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B)</p>	<p>7 粘り強く文章を読み返して、今までの学習を生かして、まちがいを直そうとしたり確かめたりしている。</p>
<p>音や様子をあらわす言葉</p>	<p>3</p> <p>音や様子をあらわす言葉 教科書：P120 △擬声語や擬態語のはたらきなどを理解し、文の中で使う。</p>	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(H1ア)</p>	<p>・積極的に、音や様子を表すことができる言葉があることに気づき、学習の見直しをもって文の中で使おうとしている。</p>
<p>組み合わせてきている漢字</p>	<p>2</p> <p>漢字の広場⑥ 組み合わせてきている漢字 教科書：P122 △同じ部分をもつ漢字を集め、漢字を正しく使う。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(H1エ)</p>	<p>・積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見直しをもって、同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>一年生で学んだ漢字④</p>	<p>2</p> <p>一年生で学んだ漢字④ 教科書：P124 △絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを表って文を書く。</p>	<p>◎第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(H1エ)</p>	<p>◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B1ウ)</p>
<p>アレクサンダとぜんまいねずみ</p>	<p>八 何が、どのようにかわったかに気をつけて読み、お話をしよう アレクサンダとぜんまいねずみ 教科書：P126 □何が、どのようにかわったかに気をつけて読み、あらすじをまとめてお話を紹介する。 ＊ここが大事：あらすじをまとめる ☆学習用語：登場人物、できごと、変化、あらすじ</p>	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(H1ア)</p>	<p>◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C1ア) ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C1カ)</p>
<p>これまで これから</p>	<p>国語の学習 これまで これから 教科書：P144 ■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A)(1エ) ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事項を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B)(1ア)</p>	<p>・すでに自分の体験と結びつかなお話を読み、登場人物の行動や場面の様子に着目し、今までの学習を生かしてあらすじをまとめようとしている。</p>

教科	国語(書写)	学年	第2学年
----	--------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
もっと もっと、書きたいね！書いて、つたえたいね！	1	○書写で学習することを、文字や書写学習に対する関心を高めることができる。	B ：校内にある文字が読めるようになっている。書写で学習したことを理解して書いている。	B ：書写で文字の書き方について学習したことを振り返り、考えている。	B ：1年生で学んだことを生かして、文字や書写学習に対する関心を高めている。
1 はじめの 学しゅう ①文字を書くしせい ②えんぴつのもち方 ③学しゅうのすめ方 ④しよしゃの体そう	1	○1年生の書写学習で身につけたよい姿勢・鉛筆の持ち方、学習の進め方を確認することができる。	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方がわかっている。よい姿勢・鉛筆の持ち方で、点画の書き方を理解して書いている。学習の進め方を理解している。	B ：よい姿勢・鉛筆の持ち方について考えている。点画の書き方について運筆方法を考えている。学習の進め方について、流れを考えている。	B ：ふだんの書く場面でも、よい姿勢やよい持ち方で書こうとする意識をもっている。他の文字を書く場面でも、点画の書き方に気をつけて書く意識をもっている。
2 かたかなの 学しゅう 画の 方こう	3	○片仮名の画の方向の違いを理解することができる。	B ：「はらい」の方向について理解している。「はらい」の方向に気をつけて書いている。	B ：払う方向の違いについて考えている。	B ：他の文字でも、片仮名の字形に気をつけて書こうとしている。
3 かん字の 学しゅう ①書きじゆん	2	○書き順の原則（横画から書く、長い縦画から書く）を理解することができる。 ○書き順に従い、文字を正しく書くことができる。 ○取っている部分のある文字を、書き順に従い、正しく書くことができる。	B ：書き順の原則を理解している。書き順の原則に従って、正しく書いている。	B ：書き順の原則について考えている。	B ：他の文字でも、書き順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。
②画の 方こう 文字を くらべて 話し合おう	3	○「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いを理解することができる。 ○「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて、正しく書くことができる。	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて理解している。「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて、正しく書いている。	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向の違いについて考えている。	B ：「はらい」「おれ」「まがり」「そり」「点や画」の方向に気をつけて書こうとしている。他の文字でも画の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。
③画の 長さ、 画と 画との 間	3	○画の長さの違いと、画と画との間とり方を理解することができる。 ○画の長さの違いと、画と画との間とり方に気をつけて、正しく書くことができる。	B ：画の長さの違いについて理解している。画の長さに気をつけて書いている。画と画との間とり方について理解している。画と画との間とり方に気をつけて書いている。	B ：画の長さの違いについて考えている。画と画との間とり方について考えている。	B ：他の文字でも画の長さや間とり方に気をつけて書こうとする意識をもっている。他の文字でも画と画との間とり方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
④画の つき方と 交わり方	3	○画のつき方と交わり方を理解することができる。 ○画のつき方と交わり方に気をつけて、正しく書くことができる。	B ：画のつき方と交わり方について理解している。画のつき方と交わり方に気をつけて書いている。	B ：画のつき方と交わり方について考えている。	B ：他の文字でも、画のつき方と交わり方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
⑤文字の 中心	3	○文字の中心（縦画が中心にある文字、書き出しが中心の文字など）を理解することができる。 ○文字の中心に気をつけて、正しく書くことができる。 ○学習したことを生かして、字形を整えて丁寧に書くことができる。	B ：文字の中心について理解している。文字の中心に気をつけて、正しく書いている。	B ：文字の中心について考えている。	B ：文字の中心に気をつけて書いている。他の書写場面でも、文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。
⑥年がじょうと 書きぞめ ●年がじょう	3	○年賀状の書き方を理解し、年賀状を書こうとする意欲をもつことができる。 ○字形や文字の中心に気をつけて、年賀状を丁寧に書くことができる。	B ：年賀状の書き方について理解している。年賀状の書き方を理解して書いている。字形や中心について理解している。字形や中心に気をつけて書いている。	B ：年賀状の書き方について考えている。字形や中心について考えている。	B ：年賀状を書く活動に、積極的に取り組もうとしている。字形や中心に気をつけて書こうとしている。書写の授業以外でも、字形や中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。
●書きぞめ	2	○句読点の書き方のきまりを確認したり、フェルトペンの持ち方を理解したりして、書きぞめを書こうとする意欲をもつことができる。 ○鉛筆やフェルトペンを正しく持ち、字形や文字の中心に気をつけて、丁寧に書くことができる。	B ：書き出しの位置や、句読点を書く位置、字形や文字の中心について理解している。書き出しの位置や、句読点を書く位置に気をつけて正しく書いている。字形や文字の中心に気をつけて正しく書いている。	B ：書き出しの位置や、句読点を書く位置について考えている。字形や文字の中心について考えている。	B ：書きぞめに対して、意欲的に取り組もうとしている。字形や文字の中心に気をつけて書こうとしている。他の文字でも書き出しの位置や、句読点を書く位置、書き順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
⑦文字の 形	3	○文字の外形の違いを理解することができる。 ○文字の外形に気をつけて、正しく書くことができる。	B ：文字の外形の違いについて理解している。文字の外形に気をつけて書いている。	B ：文字の外形の違いについて考えている。	B ：文字の外形の違いに気づき、学習への意欲をもっている。他の漢字についても、文字の形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【書いて つたえ合おう】 しょうたいじょう、本の しょうかいカードを 書こう	4	○学習したことを生かして、筆記具や用紙を選び、丁寧に書くことができる。 ○これまで学習したことを生かして、書き順や字形に気をつけて、丁寧に書くことができる。	B ：横書きのカードの書き方について理解している。本の紹介カードの書き方について理解している。字形や書き順に気をつけて書いている。	B ：招待状の書き方について考えている。本の紹介カードの書き方について考えている。	B ：他の学習場面においても、相手のことを考えて丁寧に書く意識をもっている。
【知りたい 文字の せかい】 何の 形から できた かん字かな	1	○物の形からできた漢字があることを知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。	B ：漢字の成り立ちについて理解している。学習した漢字について、字形に気をつけて書いている。	B ：漢字の成り立ちについて考えている。	B ：漢字の成り立ちに対する興味・関心をもつて書こうとしている。他の漢字についても、その成り立ちについて関心をもっている。
学しゅうの まとめ	2	○1年間の書写学習を振り返り、学習した内容を確認することができる。 ○学習したことを生かして、時間割りの文字を正しく書くことができる。 ○字形や書く位置に気をつけて、丁寧に書くことができる。	B ：字形や書く位置について理解している。字形や書く位置に気をつけて、丁寧に書いている。	B ：今まで学習した内容について考えている。	B ：学習したことを生かして、意欲的に書こうとしている。他の文章でも、書く位置に気をつけて、字形を整えて書こうとする意識をもっている。
【かん字の ひょう】 二年生で 学しゅうする かん字 一年生で 学しゅうした かん字	1	○2年生で学習した内容（書き順、画の方向、画の長さ、画と画の間、画のつき方と交わり方、文字の中心、文字の形）を確認することができる。 ○1年生で学習した漢字の終筆（「とめ」「はね」「はらい」）や送筆（「おれ」「まがり」「そり」）などの書き方を確かめることができる。 ○1年生で学習した字形の整え方や書き順などを確かめることができる。	B ：始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向について理解している。始筆・送筆・終筆などの違いによって、漢字の仲間さがしをしている。	B ：始筆・送筆・終筆の書き方や、画の長短・方向について考えている。	B ：始筆・送筆・終筆の書き方や、画の長短・方向などに気をつけて確かめようとしている。他の文章でも始筆・送筆・終筆の書き方や画の長短・方向、字形に気をつけようとする意識をもっている。
【ひらがなの ひょう・かたかなの ひょう】		○平仮名・片仮名の書き順や字形・拗音・促音・長音などの書きまわりを確認することができる。 ○平仮名・片仮名の言葉を探求活動に、意欲的に取り組むことができる。	B ：平仮名と片仮名の筆順や字形について理解している。	B ：平仮名と片仮名の字形や筆順について考えている。	B ：平仮名と片仮名の筆順や字形を確かめている。片仮名の言葉を探している。他の片仮名でも筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。
【はってん】 三年生から 毛ひつの 学しゅうが はじまるよ		○3年生から始まる毛筆学習について、関心を高めることができる。			B ：3年生で学習する毛筆学習について、説明をよく聞いている。

教科 算数 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで算数をはじめよう！/ コアはいくつ	2	算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	問題解決の進め方を理解している。	問題の条件に着目し、題意に合う式を筋道を立てて考えたり表現したりしている。	問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。
1.表とグラフ	4	○簡単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察する力を身につける。また、データを整理することに進んで関わり、その過程を振り返り、表やグラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)、D(1)イ(イ)】	・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。<思・判・表>	・データを整理することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
2.たし算	9	○2位数の加法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算のしかたを考慮することに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(ウ)、A(2)イ(イ)、内(3)】	・2位数+2位数の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法の計算が確実にできる。また、加法に関して成り立つ性質について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・加法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
3.ひき算	9	○2位数の減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算のしかたを考慮することに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(ウ)(エ)、A(2)イ(イ)】	・2位数-2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
4.長さ	8	○長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(イ)】	・長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、長さについておおよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>
5.100より大きい数	10	○3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力を身につけるとともに、十や百を単位としてみて、何十や何百の加法及び減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)、A(1)イ(イ)、A(2)ア(イ)】	・3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解している。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
たし算とひき算の図	2	①加法と減法のテープ図の見方やかき方を理解する。 ②加法や減法の問題場面をテープ図に表すことができる。	・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。	・加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。	・図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなることに気づき生活や学習に活用しようとしている。
6.たし算とひき算	9	○百の位に繰り上がる2位数などの加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がり・繰り下がりがない3位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考慮することに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(イ)、内(2)(3)】	・2位数+1・2位数=百何十何の加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がりがない3位数+1・2位数、百の位からの繰り下がりがない3位数-1・2位数の筆算のしかたを理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。また、()の意味や用い方について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
何人 いるかな	1	①重なりがある場合などの順序数の加法を理解する。			・順序数の加法の場面を図などを用いて表し、計算のしかたを考えている。
7.時ごとく 時間	4	○時刻と時間の意味、時間の単位「日、時、分」について知り、日常生活の中で用いる力を身につける。また、時刻と時間を表すことに進んで関わり、その過程を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(イ)】	・時間の単位「日、時、分」について知り、それらの関係を理解している。<知・技>	・時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。<思・判・表>	・時刻と時間を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
筆算をつくろう	1	①数字カードを使った活動をとおして、筆算のしくみの理解を深める。			・筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考えている。
8.水のかさ	7	○かさの単位「l、dl、ml」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択してかさを測定する力を身につける。また、かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(イ)】	・かさの単位「l、dl、ml」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、かさについておおよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>

ロボットレース	1	①直線の作図の習熟を図る。	・ものさしを用いて直線を作図することができる。		
9. 三角形と 四角形	9	○三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりものの形を三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア) (イ)、A(1)イ(ア)、内(5)】	・三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。<知・技>	・三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えるとともに、身のまわりものの形を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。<思・判・表>	・三角形や四角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>
タングラム	1	①図形についての感覚を豊かにする。	・身のまわりものの形を図形として捉え、三角形や四角形を組み合わせて構成することができる。		
10. かけ算	20	○乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(3)ア(ア) (イ) (ウ) (エ)、A(3)イ(ア) (イ)】	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(5、2、3、4の段) <知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
九九であそぼう	2	①②九九に習熟する。	・2の段から5の段までの九九が確実にできる。		
11. かけ算九九づくり	18	○乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(3)ア(ア) (イ) (ウ) (エ)、A(3)イ(ア) (イ)】	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(6、7、8、9、1の段) <知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
九九ジグソーパズル	1	①九九に習熟し、乗法の性質について理解を深める。			・九九ジグソーパズルの解決のしかたを、九九表における答えの並び方に着目して考えている。
12. 長いものの長さ	5	○長さの単位「m」について知り、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア) (イ)、C(1)イ(ア)】	・長さの単位「m」について知り、単位の関係を理解し、長さについておおよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>	・身のまわりものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>
数をあらわそう	1	①1つの数をほかの数の和や差、積としてみるなど、数についての感覚を豊かにする。			・1つの数を多面的に捉え、ほかの数の和や差、積とみて式で表したり、図や絵で表したりしている。
13. 九九の表	6	○乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解し、それらの性質を見いだしたり、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考える場合などに活用したりする力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質について考えることに進んで関わり、それらを用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ウ) (オ)、A(3)イ(ア)、内(4)】	・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法に関して成り立つ性質を見いだすことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
14. はこの形	5	○長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、箱の形の特徴を見いだすことに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ウ)、B(1)イ(ア)】	・長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。<知・技>	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えているとともに、身のまわりものの形を図形として捉えている。<思・判・表>	・箱の形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。<態度>
15. 1000より大きい数	7	○4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力、及び百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア) (イ) (ウ) (オ)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(イ)、内(1)】	・4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
数のめいろ	1	①決められた和になる数の選び方を、筋道を立てて考えることができる。			・決められた和になる数の選び方を筋道を立てて考えている。

<p>16. 図をつかって考えよう</p>	<p>5</p> <p>○加法と減法との相互関係について理解するとともに、逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけて解決のしかたを考える力を身につける。また、問題場面を図に表すことに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(2)ア(エ)】</p>	<p>・加法と減法との相互関係について理解するとともに、問題場面を図や式に表すことができる。<知・技></p>	<p>・逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけて解決のしかたを考えている。<思・判・表></p>	<p>・問題場面を図に表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度></p>
<p>17. 1を分けて</p>	<p>6</p> <p>○1/2、1/3など簡単な分数について知り、具体物を操作してそれらの大きさを作ることができるとともに、もとの大きさに着目して分数の大きさを捉えたり表現したりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(1)ア(カ)】</p>	<p>・1/2、1/3など簡単な分数について知っている。<知・技></p>	<p>・もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。<思・判・表></p>	<p>・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度></p>
<p>お楽しみ会で算数</p>	<p>1</p> <p>①2学年の学習内容を理解し、問題を解くことができる。</p>			<p>日常の場面から算数の問題を見だし、グラフや九九などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。</p>
<p>算数をつかって考えよう</p>	<p>1</p> <p>知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。</p>		<p>日常の場面から算数の問題を見だし、グラフや九九などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。</p>	<p>・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。</p>
<p>2年のまとめ</p>	<p>4</p> <p>①②③④第2学年の学習内容の問題を解決することができる。</p>	<p>第2学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。</p>		<p>第2学年で学習した基本的な問題について、それらが確実に身にH12:P34つくように取り組もうとしている。</p>

教科	生活	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春だ 今日から 2年生	6	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の人や場所の働きを見付け、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付き、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとするができるようにする。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節ごとに自然が変化していることや、季節に応じて自分たちの生活が変化していることに気付いている。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や特徴を探したり、地域の人や場所の働きを見付けたりしている。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとしている。
ぐんぐん そだて わたしの野さい	10	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようすることができるようにする。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。
どきどき わくわく まちたんけん	10	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを見付け、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようすることができるようにする。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。
生きもの なかよし 大作せん	10	動物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、動物への親しみをもち、生き物を大切にしようすることができるようにする。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、生命をもっていることに気付いている。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。
うごく うごく わたしのおもちゃ	12	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、安全に遊ぶことができるようにする。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。
みんなで つかう まちのしせつ	6	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなが使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとするができるようにする。	○公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなが使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	○公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。	○公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとしている。
もっと なかよし まちたんけん	12	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようすることができるようにする。	○地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	○地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。	○地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

<p>つながる 広がる わたしの生活</p>	<p>12</p>	<p>自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする</p>	<p>○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。</p>	<p>○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。</p>	<p>○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。</p>
------------------------	-----------	--	--	--	--

教科		音楽		単元のままとりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔巻頭教材〕	随時	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりや、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技術を身に付ける。 (2) 旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽を愛好する心情を育む。			・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりや、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技術を身に付けている。 ・思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技術を身に付けている。	旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〔スキルアップ〕	毎時	(1) 手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技術を身に付ける。 (2) 強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。 (3) 手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、身の回りの様々な音や音楽に親しむ。			・手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技術を身に付けている。	・強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。	・手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
1 強さとはやさ	7	(1) 曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりや、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技術を身に付ける。 (2) 強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 呼びかけとこたえや、強弱の変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、遊び親しむ。			曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりや、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技術を身に付けている。	強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	呼びかけとこたえや、強弱の変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2 はくや ドレミと なかよし	7	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりや、思いに合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技術や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技術を身に付ける。 (2) リズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音楽とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌に合わせてリズムを打つことと鍵盤楽器を奏する技術を身に付ける。			曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりや、思いに合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技術や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技術を身に付けている。	リズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音楽とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	歌に合わせてリズムを打つことと鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〔音のスケッチ〕	3	(1) 音の重なりやリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技術を身に付ける。 (2) 音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていこうかについて思いをもつ。 (3) 音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、和音の響きや鍵盤楽器に親しむ。			音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技術を身に付けている。	音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていこうかについて思いをもつ。	音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〔めざせ 楽しま人〕	毎時	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりや、思いに合った表現をするために必要な、楽法や、思いに合った表現をするために必要な、楽法や伴奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技術を身に付ける。 (2) 旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、鍵盤楽器に親しむ。			楽器の音色と演奏の仕方との関わりや、思いに合った表現をするために必要な、楽法や、思いに合った表現をするために必要な、楽法や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技術を身に付けている。	旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3 きよくに 合った 歌い方	4	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりや、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技術を身に付ける。 (2) 旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などを丁寧に聴いたりする活動など興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、様々な音楽に親しむ。			曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりや、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技術を身に付けている。	旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などを丁寧に聴いたりする活動など興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〔音のスケッチ〕	2	(1) 身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなど関わらせて気付く。 (2) 音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。 (3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、生活の中の様々な音に親しむ。			身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなど関わらせて気付いている。	音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。	身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4 音色とリズム	4	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりや、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技術を身に付ける。 (2) 音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見たり、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもつ。 (3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。			曲想と音色など音楽の構造との関わりや、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技術を身に付けている。	音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見たり、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもつ。	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〔にっぽんのうた みんなのうた〕	2	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりや、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技術を身に付ける。 (2) 旋律やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。			曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりや、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技術を身に付けている。	旋律やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科 図画工作 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すきなこと なあに	2	○形や色を工夫しよう。 ○描きたい場面を考えよう。 ○描くことをたのしもう。	○絵に表したり友達作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。 ○表したい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。	○経験をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○自分が好きなことを絵に表すことに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
ねん土が うごき出す!	2	○手の使い方を工夫しよう。 ○いろいろな形を見つけよう。 ○粘土の重さを感じて触り心地をたのしもう。	○粘土に働きかけることを通して、触った感じや形の変化に気づいている。 ○粘土を握る、穴を開ける、たたいてのぼすなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	○粘土に触った感じやそこから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○粘土に積極的に働きかけ、いろいろな形を見つけることをたのしもうとしている。
新聞紙と あそぼう	2	○新聞紙をねじったり裂いたりして、活動を工夫しよう。 ○新聞紙でどんなことができるか考えよう。 ○体全体を使って新聞紙をたのしもう。	○新聞紙に働きかけることを通して、形や触った感じの変化に気づいている。 ○新聞紙をねじったり裂いたり穴を開けたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	○新聞紙に働きかけることから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○全身で新聞紙に働きかけながら、いろいろな形や触った感じの変化などを見つけることをたのしもうとしている。
ぼかしあそびで	2	○いろいろなぼかし方を工夫しよう。 ○ぼかしてできた形や色から描きたいものを考えよう。 ○ぼかし遊びをたのしもう。	○いろいろなこすり方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさ、面白さに気づいている。 ○いろいろなこすり方を試したり組み合わせたりしながら工夫して表している。	○クレヨンやパスをぼかした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○クレヨンやパスを用いたぼかし遊びに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
ふしぎな いきもの あらわれた	2	○描き方や塗り方を工夫しよう。 ○あらわれたら面白い生き物を考えよう。 ○はじき絵をたのしもう。	○絵に表したり友達作品を見たりすることを通して、はじき絵から生まれる形や色の面白さに気づいている。 ○生き物の形や、生き物のまわりの色づかいなどの表し方を工夫して表している。	○はじき絵の技法から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○はじき絵の技法に興味をもち、あらわれたら面白い生き物を描く活動にたのしく取り組もうとしている。
みんなで ワイワイ! 紙けん玉	4	○けん玉の形や色、つくり方を工夫しよう。 ○仕組みからつくりたいけん玉を考えよう。 ○けん玉をつくらしたり、遊んだりすることをたのしもう。	○紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色の面白さやよさに気づいている。 ○好きな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すかを考えている。	○けん玉をつくらって遊ぶ活動に興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
えのぐじま	2	○形や色、筆の使い方を工夫しよう。 ○描きたい えのぐじまを考えよう。 ○絵の具と筆でのびのびと描くことをたのしもう。	○筆をのびのびと動かして描くことを通して、互いの「えのぐじま」の形や色、筆触の違いなどに気づいている。 ○筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表している。	○「えのぐじま」「カラフルななみ」などの言葉から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いてたのしく取り組もうとしている。
くつつき マスコット	6	○紙粘土に磁石をつけて、形や色を工夫しよう。 ○磁石でくつつきマスコットを考えよう。 ○つくることがたのしもう。	○紙粘土と磁石でマスコットをつくることを通して、作品の形や色のよさ、面白さに気づいている。 ○くつついたり、離れたりする磁石の特性を生かした形や色、しかけなどを試しながら工夫して表している。	○磁石の特性をもとにつくりたいもの思いつき、どのように表すかを考えている。	○磁石を利用したおもちゃや飾りをつくることに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。
大きく そだて、びっくりやさい	2	○形や色を工夫しよう。 ○びっくり野菜の秘密を考えよう。 ○びっくり野菜を描くことをたのしもう。	○大きく育つ野菜を描くことを通して、「びっくりやさい」の形や色のよさや違いに気づいている。 ○クレヨンやカラーペン、共同絵の具の扱いに慣れるとともに、形や色、描き方を工夫して表している。	○「びっくりやさい」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○「びっくりやさい」という言葉から自由に想像を広げ、たのしく絵を描く活動に取り組もうとしている。
こんには、むぎゅたん	2	○ひねったりつまんだりして形を工夫しよう。 ○粘土から想像して、つくりたい生き物を考えよう。 ○粘土でつくることをたのしもう。	○手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形や質感がさまざまに変化する面白さに気づいている。 ○粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。	○粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○自分らしい「むぎゅたん」を表すことに興味をもち、粘土に積極的に働きかけながらたのしく取り組もうとしている。
見つけたよ、わたしの 色水	2	○色水のつくり方や並べ方を工夫しよう。 ○色水をつくりながら、どのように活動するか考えよう。 ○色水でたのしく活動しよう。	○色水をつくらたり並べたりすることを通して、混ぜたときの色の変化や並べたときの形や色の面白さに気づいている。 ○いろいろな色の色水をつくらたり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。	○つくった色水の色や、容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。	○色水をつくらたり、並べたりすることに興味をもち、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。
いろいろ もよう (形と色でショートチャレンジ)	2	○模様のつくり方を工夫しよう。 ○いろいろな模様を試したり見つけたりしよう。 ○模様をつくることをたのしもう。	○いろいろな描画材料を使って模様を表すことを通して、そこから生まれる形や色の面白さや違いに気づいている。 ○泡の形を写したり、折り染めをしたりするなど、いろいろな表し方を試しながら工夫して表している。	○それぞれの技法の特徴をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。	○模様のいろいろな表し方に関心をもち、たのしく取り組もうとしている。

のりのり おはながみで	6	<ul style="list-style-type: none"> ○お花紙の形や色を工夫しよう。 ○並べて、重ねて、好きな感じを見つけよう。 ○お花紙の手触りをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じの心地よさや、重なったお花紙の形や色の面白さに気づいている。 ○お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お花紙を並べたり重ねたりしたときの色や形、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お花紙の触り心地を味わいながら、飾りをつくる活動にたのしく取り組もうとしている。
えのぐを たらした かたちから	4	<ul style="list-style-type: none"> ○形や色を工夫しよう。 ○絵の具の模様からお話を考えよう。 ○絵を描くことをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵の具をたらすことを通して、そこから偶然に生まれる線の形や色の面白さに気づいている。 ○絵の具の色を選んだり、たらす向きや、重なりをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○偶然にできた絵の具の形や色をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○たらしてできる絵の具の模様から絵に表すことに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。
えのぐひっばいラインボー	2	<ul style="list-style-type: none"> ○絵の具ののぼし方を工夫しよう。 ○絵の具の形から表したいことを考えよう。 ○絵の具をのぼして、描くことをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と作品を見せ合うことを通して、互いの描いた「虹」の形や色、その生かし方の違いに気づいている。 ○絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○厚紙でのぼした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○絵の具を厚紙でのぼす快さを味わいながら、たのしく取り組もうとしている。
しぜんからの おくりもので	2	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の並べ方を工夫しよう。 ○材料の形や色からどんなことができるか考えよう。 ○自然の材料でたのしく活動しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の材料を集め、並べたりつないだりすることを通して、材料の形や色、触った感じの面白さに気づいている。 ○自然の材料を並べたりつないだりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の材料の形や色に関心をもち、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。
どうぶつさんと いっしょに	4	<ul style="list-style-type: none"> ○描きたい場面になるように形や色を工夫しよう。 ○描きたい場面を考えよう。 ○動物と自分を描くことをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物と関わった場面を描くことを通して、動物やまわりの様子の形や色のよさに気づいている。 ○表してみたい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物を見たり、動物と遊んだりしたときの気持ちをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物を見たり、動物と遊んだりしたことを思い出しながら、たのしく活動に取り組もうとしている。
すけるん たんじょう	2	<ul style="list-style-type: none"> ○切った形のひねり方や、つなぎ方を工夫しよう。 ○丸めたりひねったりして、つくりたいものを考えよう。 ○「すけるん」をたのしくつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○透明ファイルを操作することを通して、透明な材料が重なったり組み合わせざったりしたときにできる色や影、形の面白さに気づいている。 ○透明ファイルの切り方やひねり方、組み合わせ方などをいろいろ試すなど、工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○透明ファイルを切ったりひねったりしてできた形をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○透明な材料に興味をもち、自分らしき「すけるん」を表す活動にたのしく取り組もうとしている。
へんしんしよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ○身近にあるものの形や色を知ろう。 ○身近にあるものをどのように使うか、考えよう。 ○身近なものを使って、何かになることをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なものを変身させる活動を通して、それぞれの形や色、触った感じの特徴や違いに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なものの形や色、触った感じなどの特徴や面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なものの形や色などを再度違った角度から見直しながら、変身させる活動にたのしく取り組もうとしている。
あなの むこうは ふしぎな せかい	2	<ul style="list-style-type: none"> ○穴を生かした絵の描き方を工夫しよう。 ○穴でつながる二つの世界を考えよう。 ○友達と作品を見せ合ってたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○穴でつながる二つの世界を描くことを通して、穴の形の生かし方や、まわりの様子の形や色のよさに気づいている。 ○好きな色を選んだり、気に入った形になるようにいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「あな」という言葉から想像して表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○穴でつながる二つの世界を描くことに関心をもち、想像を広げながらたのしく取り組もうとしている。
めざせ！ カッターナイフ名人	2	<ul style="list-style-type: none"> ○カッターナイフの使い方に慣れよう。 ○切ってできた形から、つくりたいものを考えよう。 ○紙を切るたのしさを味わおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カッターナイフで切ることを通して、カッターナイフが生む鋭い形の面白さやよさに気づいている。 ○安全で正しいカッターナイフの扱いに慣れ、いろいろな線の効果を試すなど、工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら、活動にたのしく取り組もうとしている。
まどのある たてもの	4	<ul style="list-style-type: none"> ○建物の形や窓の開け方を工夫しよう。 ○窓の形やつくりたい建物を考えよう。 ○友達と作品を見せ合ってたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カッターナイフで窓を切った建物をつくることを通して、建物や窓の形の面白さに気づいている。 ○カッターナイフの扱いに慣れ、表したいことをもとに建物や窓の形などを工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら、活動にたのしく取り組もうとしている。
いっぱい うつつて	4	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返して重なりなど写し方を工夫しよう。 ○写し方を試しながら、表したいことを考えよう。 ○型紙版画で写すことをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○版を並べたり重ねたりして写すことを通して、写るものの形や色の美しさや面白さに気づいている。 ○版の並べ方や重ね方、写す位置をいろいろと試すなど、工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ローラー遊びや型紙版画の表現から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○型紙版画の表現に関心をもち、版で表す活動にたのしく取り組もうとしている。
かぶって へんしん	6	<ul style="list-style-type: none"> ○形や色、紙の貼り方を工夫しよう。 ○つくりたいお面を考えよう。 ○お面をつくったり、かぶったりしてたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お面をつくり、遊ぶことを通して、お面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや機能性などに気づいている。 ○土台となる型の形やお花紙の貼り方、飾り付けの方法などをいろいろと試すなど、工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が変身してみたい姿をもとにつくりたいお面を思いつき、どのように表すかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お面をつくって変身することに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。

教科 体育 学年 第2学年

単元名	時数	元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規程		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動遊び	5	・みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。	・体ほぐしの運動遊びの行い方がわかる。 ・手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自分の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わったりすることができる。	・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒にやると楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を選んで選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・体を動かすと気持ちよいくことや汗が出ることなどの気付いたことを言葉で表したり、気持ちを表すカードなどを用いたりして、友達に伝えている。	・体ほぐしの運動遊びに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
多様な動きをつくる運動遊び	16	・バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力試しをしたりする、いろいろな動きを楽しむ。 ・動きを考えたり友達の考えた動きに挑戦したりする。	・多様な動きをつくる運動遊びの行い方がわかる。 (ア) 体のバランスをとる運動遊び 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊びを通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ) 体を移動する運動遊び 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでかけ足などの運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ) 用具を操作する運動遊び 用具をつかむ、持つ、握らず、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗るなどの動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ) 力試しの運動遊び 人を押す、引く、運ぶ、支えるなどしたり、力比べをしたりするなどの動きで構成される運動遊びを通して、力を出しきったり、力を入れたり緩めたりする力試しの動きを身に付けることができる。	・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒にやると楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を選んで選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・友達の動きを見て見つけたよい動きや、行ってみたいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 ・用具の大きさや種類を変えたり、様々なやり方を試したりして選んだ行い方を、動作を交えながら友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動遊びに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
固定施設遊び	2	・固定施設のいろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。	・固定施設を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ジャングルジムを使った運動遊び ・登り下り、渡り歩き、逆さの姿勢などをすることができる。 ○雲梯を使った運動遊び ・懸垂棒や渡り歩きなどをすることができる。 ○登り棒を使った運動遊び ・登り下りや逆さの姿勢などをすることができる。 ○平均台を使った運動遊び ・渡り歩きや跳び下りなどをすることができる。	・それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・固定施設遊びに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
マット遊び	4	・マットを使っていろいろな遊びをする。	・マットを使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ゆりかご、前転がり、後ろ転がり、丸太転がりなど。 ・マットに背中や腹をつけて揺れたり、いろいろな方向に転がったりすることができる。 ○背支持開立(首倒立)、うさぎ跳び、かえるの足打ち、かえるの逆立ち、壁登り逆立ち、支持での川跳び、ブリッジなど。 ・手や背中などで体を支えているいろいろな姿勢で逆立ちしたり、移動したり、体を反らしてブリッジをしたり、友達がつくったブリッジをくぐったりすることができる。	・複数のコースでいろいろな方向に転がることができるような場を選んだり、動物に変身して行う運動遊びの中から動物の動きを選んだりしている。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・マット遊びに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・転がったりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
鉄棒遊び	4	・いろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。	・鉄棒を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ふんとん干し、こもり、さるなど。 ・腹や膝、手でぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ○つばめ ・体を伸ばし手で支えバランスをとって止まることができる。 ○跳び上がりや跳び下り ・跳び上がりや支持して下りたり、支持の姿勢で体を揺らして後ろに跳び下りたりすることができる。 ○前回り下り、足抜き回り ・支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りたり、両手でぶら下がって前後に足抜き回りをしたりすることができる。	・手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして速く〜跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・鉄棒遊びに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
跳び箱遊び	5	・いろいろな跳び方で跳んだり、跳び方を工夫したりして楽しむ。	・跳び箱を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○踏み跳し跳び ・片足で踏み切って跳び箱に跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○支持でまたぎ乗り・またぎ下り、支持で跳び乗り・跳び下り ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いてまたぎ乗ったり、またいだ姿勢で手を支点に体重を移動させてまたぎ下りたりすることができる。 ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いて両足で跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○馬跳び、タイヤ跳び ・両手で支持してまたぎ越すことができる。	・跳び乗った後、手を叩いたり、回ったりなど自分の力に合った着地の仕方を考え、選んでいる。 ・友達のよい跳び方を擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・跳び箱遊びに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
かけっこ・リレー	6	・いろいろなジグザグコースを作って走ったり、友達と競争したりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・まっ直ぐなところや蛇行したところを調子よく走ることができる。 ・相手の手の平にタッチをしたりして走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。	・ジグザグ走のコースや折り返しリレーのコースを工夫して作っている。 ・ジグザグ走の感想や走り方のポイント、友達のよい走り方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・かけっこ・リレーに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
ハードルリレー	6	・いろいろなコースを作り、走って跳び越したり、自分や友達の作ったコースでリレーをしたりする。	・ハードルリレーの行い方がわかる。 ・いろいろな問題に並べられた高さの違う障害物を走り越えることができる。 ・リレーにおけるバトンの受け渡しをスムーズに行うことができる。 ・低い障害物を置いた蛇行したコースやまっ直ぐなコースをバランスよく最後まで調子よく走り越すことができる。	・ハードルリレーのコースをいろいろな用具を使い、置き方を工夫して作っている。 ・ハードルリレーの感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・ハードルリレーに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
高跳び遊び	5	・いろいろな場を選んで、いろいろな跳び方で高く跳ぶ。	・高跳び遊びの行い方がわかる。 ・片足や両足で連続して上方に跳ぶことができる。 ・助走を付けて片足でしっかり地面を置くと上方に跳ぶことができる。	・高跳び遊びのいろいろな場を工夫して作っている。 ・自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。 ・高跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達のよい跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・高跳び遊びに選んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

<p>ボール投げ遊び</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな場でボールを投げ、友達とボール投げ競争をする。 	<p>・ボール投げ遊びの行い方がわかる。 ・体重移動を行い、ボールを速くに投げることができる。</p>	<p>・ボールを速くに投げするための投げ方を工夫したり、練習の場を選んだりしている。 ・ボール投げ遊びの感想や投げ方のポイント、友達よりの投げ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。</p>	<p>・ボール投げ遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やまわりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・ボールを投げる場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>水遊び</p>	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束を守って、いろいろな水遊びをする。 	<p>【水の中を移動する運動遊び】 ・水の中を移動する運動遊びの行い方がわかる。 ・水につかっつてのりレー遊び、鬼遊びなどで、水の抵抗や浮力に負けないように、自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。 ・手で水をかいたり、足でプールの底を力強く蹴ったりジャンプをしたりしながら速く走ることができる。 【もぐる・浮く運動遊び】 ・もぐる・浮く運動遊びの行い方がわかる。 ・水に顔をつけたり、もぐって目を開けたりすることができる。 ・水中で息を止めてたり吐いたりしながら、じゃんけんや輪くぐりなどのもぐる遊びをすることができる。 ・浮力に負けないように、手や足を使っているいろいろな姿勢でもぐるることができる。 ・壁や補助員につかまったり、友達に支えてもらったりしていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・補助員や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進むことができる。 ・息を吸って止め、全身の力を抜いているいろいろな姿勢で浮くことができる。 ・息を止めてもぐり、口や鼻から少しずつ息を吐きながら水面まで跳び上がって息をまとめて吐いた後、空中ですぐに吸ってまたもぐるることができる。 ・膝を曲げたり伸ばしたりして、跳び上がる動きを繰り返すことができる。</p>	<p>・楽しくできる水遊びの場や遊び方を工夫し、選んでいる。 ・楽しくできるパンプンやボウリングの遊び方を工夫し、選んでいる。 ・友達の水の中での移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 ・スムーズに歩いたり走ったりするために、方向や速さを変えるときの手のやり方の使い方を見付け、友達に伝えている。</p>	<p>・水遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やまわりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴び、プールのサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体（肌、耳、鼻、頭髮等）を清潔にしている。</p>
<p>宝取り鬼</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走り方や攻め方を工夫して、宝取り鬼をする。 	<p>・鬼遊びの行い方がわかる。 ・相手（鬼）にタグを取られないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手（鬼）のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたることができる。 ・逃げる相手を追いつけてタグを取ることができる。</p>	<p>・楽しく宝取り鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、宝を取るための攻め方を話し合っ考えている。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。</p>	<p>・宝取り鬼に進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>ボール投げゲーム</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールの投げ方や攻め方を工夫してボール投げゲームをする。 	<p>・ボール投げゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを投げたり、パスを出したり、得点したりすることができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入るることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。</p>	<p>・楽しくボール投げゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのパスの仕方やボールの投げ方、攻め方を話し合っ考えている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫や動作や言葉で友達に伝えている。</p>	<p>・ボール投げゲームに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>ボール運び鬼</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走り方や攻め方を工夫してボール運び鬼をする。 	<p>・ボール運び鬼の行い方がわかる。 ・相手（鬼）にタグを取られないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手（鬼）のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたることができる。 ・逃げる相手を追いつけてタグを取ることができる。</p>	<p>・楽しくボール運び鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、ボールをゴールまで運ぶための攻め方を話し合っ考えている。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。</p>	<p>・ボール運び鬼に進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>ボール蹴りゲーム (キックベースボール)</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを蹴って得点を入れたり、ボールを取ってアウトにしたりして、キックベースボールをする。 	<p>・キックベースボールの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることができる。 ・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入るることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。</p>	<p>・楽しくキックベースボールをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合っ考えている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫や動作や言葉で友達に伝えている。</p>	<p>・キックベースボールに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>ボール蹴りゲーム (ドーナツ・サッカー)</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蹴り方や攻め方を工夫して、ドーナツ・サッカーをする。 	<p>・ドーナツ・サッカーの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 ・ボールを止めることができる。 ・ボールが転がってくるコースに入るることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。</p>	<p>・楽しくドーナツ・サッカーをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合っ考えている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫や動作や言葉で友達に伝えている。</p>	<p>・ドーナツ・サッカーに進んで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。</p>
<p>表現遊び・遊園地へゴー！</p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊園地の乗り物になりきって、全身で楽しく踊る。 	<p>・表現遊びの行い方がわかる。 ・遊園地のいろいろな乗り物の様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の音や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ！○○だ！」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。</p>	<p>・遊園地のいろいろな乗り物の特徴的な様子を捉え、表現したい乗り物の様子を選んでいる。 ・友達のように動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。</p>	<p>・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組み際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。</p>
<p>表現遊び・生き物ランドで変身！</p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生き物に変身して全身で楽しく踊る。 	<p>・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな生き物の特徴や様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の音や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ！○○だ！」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。</p>	<p>・いろいろな生き物の特徴的な様子を捉え、表現したい生き物の動きを選んでいる。 ・友達のように動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。</p>	<p>・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組み際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。</p>
<p>リズム遊び</p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったりする。 	<p>・リズム遊びの行い方がわかる。 ・へそ（体幹部）でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して即興的に踊ることができる。 ・タロチカは、大きな掛け声をかけたり、友達顔を見たりしながら元気に踊ることができる。</p>	<p>・手をたたいたり、ジャンプしたりなどの動きを取り入れたりして工夫している。 ・友達のように動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。</p>	<p>・リズム遊びに進んで取り組んでいる。 ・リズム遊びに取り組み際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。</p>

教科	特別活動	学年	第2学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級のめあてを決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★楽しい運動会にしよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えると、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期はどうでしたか(楽しい夏休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう(楽しい夏休みでしたか)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★楽しい篠三まつりにしよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★楽しい学習発表会にしよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返る(楽しい冬休みにしよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう(楽しい冬休みでしたか)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えると、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
もうすぐ3年生(楽しい春休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。 次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

教科	読書科	学年	第2学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本の世界を楽しもう やさしいことをしらべよう 昔話を読もう	12	<ul style="list-style-type: none"> ○読書を通して、野菜に興味をもち、意欲的に本を読むことができる。 ○調べたことや自分の考えを、分かりやすく表現することができる。 ○いろいろな昔話を探して読ことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜に関する本を探して読んでいる。 ○疑問の解決のために答えをカードに書き抜くことができる。 ○日本や世界の昔話を探して読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜に関する疑問を見付け、その解決に向けて情報を記録している。 ○自分の調べたいことについて考えをもち、分かりやすくまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで本を読み、調べようとしている。 ○野菜に関する疑問について、主体的に学んでいこうとしている。 ○進んで昔話を探して読もうとしている。
どうぶつはかせになろう あまんきみこの本を読もう	15	<ul style="list-style-type: none"> ○動物園で見てきた動物に興味をもち、その動物について疑問を太陽チャートに書くことができる。 ○一番知りたい疑問を調べることができる。 ○調べたことをリーフレットにまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動物に関するいろいろな本をさがして読んでいる。 ○疑問の解決のために、答えをカードに書き抜くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な生活や体験の中から、生き物に関する疑問を見つけている。 ○動物について調べたことや自分の考えをリーフレットにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで本を読み、調べようとしている。 ○動物に関する疑問について、主体的に学んでいこうとしている。
おもちゃはかせになろう レオ・レオ二の本を読もう おはなしびじゅつかんをつくろう	8	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの物を使っておもちゃを作ることができる。 ○一年間の読書を振り返り、一番心に残った本を選ぶことができる。 ○その本の中で一番心に残った場面を選ぶことができる。 ○登場人物や簡単なあらすじをまとめ、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本を読み、自分の作りたいおもちゃを探している。 ○読んだ本を読書記録ノートに記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おもちゃの簡単な作り方を紹介している。 ○一番心に残った場面にふさわしいタイトルを考えている。 ○登場人物やあらすじをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作りたいおもちゃが載っている本を進んで読もうとしている。 ○進んで本を読み、本の良さを伝えようとしている。